

アラフォー・働く女性のための
リアルライフスタイルメディア

OTONA SALONE

自分らしく、自由に、自立して生きる女性へ

40代から始める。
大人のヘアケア特集企画

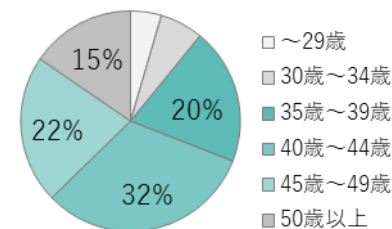


<コンセプト>

自分らしく、自由に、自立して生きる女性へ

・ユーザー属性・

- ・F2層30代～40代の働く自立した女性
- ・約**90%が35歳以上**！
- ・ユーザーの75%以上が正社員で、**40%以上が管理職**！
- ・お金にも余裕のあるアラフォーユーザー
- ・毎週訪れる**OTONA SALONEファンが約90%**！



・読者の興味関心・



美容に興味関心の高いユーザーが多い！

<OTONA SALONEで出来ること>

OTONA SALONEは、
アラフォー女性が**月間約470万人**集まる
最大級のWebメディア！

毎週訪れる**コアなファン**を多く抱えているため、
多くの読者に興味関心を持たせることが可能。

成長を続けるOTONA SALONEの、
アラフォー女性に“読ませる”編集力を
ご提供いたします。

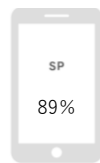
◇Site Data (月間)

28,850,000 PV

4,700,000 UU

※2020年7月時点

デバイス比





浅見 悦子/OTONA SALONE編集長

プロフィール

女性誌編集者歴20年。のべ10万人の女子大生・OL・ギャルなどさまざまなタイプの女性に会ってきた経験から、日々リアルな女性の声をキャッチし、分析しつづけている。

OTONA SALONEでは、お金のこと、美容・ファッションのこと、40代女性の婚活のことなど、アラフォー女性のあらゆる悩みにフォーカスし、リアルな体験談を踏まえた記事を執筆。

自らの婚活実体験を語った特集「40代編集長の婚活」が大好評連載中！シリーズ90記事を超える人気コンテンツとなっている。



「婚活記」は書籍化も！！

「40代ご無沙汰女子の、ざんねんな婚活」
—婚活して初めて気づいた、人生において大切な17のこと—



各界で話題騒然!?

20代、30代の婚活はよく聞くけれど、
40代の婚活とはどんなものなのか……？
どんな人と出会うのか……？

好奇心と取材魂と、ほんの少し将来を考えながら
40代にして初めて婚活をスタートさせた
OTONA SALONE編集長アサミ、現在45歳。

婚活パーティに参加したり、
デートをしてみたり……。

女性にとっての「幸せ」とは？

結婚してもしなくても、どっちでもいいのではないかな……と思
いながら
幸せについて考えている、40代独女のリアル婚活ドキュメント
である。

ペルソナ ① 独身



40歳 商社勤務（正社員）

- ・居住地：東京都渋谷区
- ・住居：分譲マンション、一人暮らし
- ・年収：700万
- ・友人とよくする話は：「美容・ダイエット」「ファッション」「占い」「老後」
- ・ほかの関心事は：「資産運用」「婦人科系の病気」「親の介護」「資格の取得」
- ・美容代：月50,000円
- ・休日：ジョギング、ゴルフ、マッサージ、プチ旅行
- ・情報収集：web・SNS・雑誌など、積極的に
- ・購入時のソース：多様な経路から情報を得ても、購入の判断基準は自分の直感。

ペルソナ ② DINKS



42歳 カフェ経営（経営者）

- ・居住地：神奈川県川崎市
- ・住居：分譲マンション、夫と二人暮らし
- ・年収：600万、世帯年収は1,500万超
- ・友人とよくする話は：「グルメ」「お酒」「芸能ゴシップ」「ペット」
- ・ほかの関心事は：「保険」「アンチエイジング」「住宅ローン」
- ・最近の関心事：オーガニックフード
- ・美容代：月40,000円
- ・休日：ショッピング、ライブ、映画
- ・情報収集：TV・雑誌・新聞以外に、SNSもチェック
- ・購入時のソース：webなどの評価をチェック。一番信頼しているのは友人の口コミ



40代から始める。 大人のヘアケア特集

薄毛・白髪・ほつれ毛・まとまらない毛・なんだかまっすぐならない毛…。ふと気がつくと思うようにいかにくなっている40歳の髪。

みんなの悩みとその対策を、自分たちも同じく髪に悩む40代執筆陣がお届けします。

誰も教えてくれませんでした。

「髪の曲がり角」が40代におとずれるなんて！

髪の手触りが違う。

うねってまとまらない。

ツヤがない。

ふえる白髪。

髪が細くなった。

ボリュームが減った。

地肌が目立ってきた。

それまでとは明らかに違う、40代の髪悩み。

髪は女性にとって永遠の友。

人生100年時代、自分の髪とずっとつきあっていきたいから
40代のいまこそ、ヘア対策が重要！

編集部も主力執筆陣もみんな40代以上。

リアルに髪の曲がり角を感じているOTONA SALONEだから
こそ「40代からのヘアケアの大切さ」をお伝えしていきます。



—OTONA SALONE 編集長 浅見 悦子

40代女性が直面する髪に関する悩みにまつわる様々なジャンルの記事を配信して参ります。

ヘアスタイル



ゴム1本なのに「オバサンほくない」40代の3分まとめ髪！

2020.08.19 BEAUTY

主婦の友社
OTONA SALONE編集部

「今日は30度か、ちょっと涼しい」と感覚がおかしくなっている今日この頃。暑い暑いと言っているのに気温が下がるわけではないので、いかに暑さをしのぐかを考えるようになりました。さらさらのロングヘアをなびかせて通風と歩ければいいのですが、ボリューム不足、うねり、ぼわぼわ毛などでそうもいかないのが現実。難アリ髪にそまてスッキリとさせれば、首に髪がまとわりついて不快な思いをすることなく涼しく過ごせます。でも、ひとつ結びじゃ味気ないし、今っぽさ欲しいのが40代。そこで、アイロンなしでも決まるおだんごヘアをご紹介します。

生え際が気にならないゆるっと感がカギ

スッキリとしたおだんごヘアという、タイトにまとめるイメージがありますが、ビシッとまとめると気になるのが「生え際」。

地肌が見えて、白髪がひょっこり現れるなど問題アリの生え際は隠したいものです。

カバーするためには、髪をたるませて耳にかけること。難しいことはなし、これだけで生え際問題は解決！



ひとつ結びの髪に髪をたるませて耳にかけると、生え際は隠れます。髪をたるませることで、生え際は隠れます。

次からはプロセスを細かく紹介していきます。

■仕込み：トップの根元を立ち上げふんわりさせて

ボリュームがなくトップがきさいい、生え際に気になる人ほど仕込みが大切です。アイロンで巻く必要はありませんが、結ぶまでいくつかけか手間をかけたあげましょう。

若々しく見せるためのポイントはトップと生え際。前髪がある人でも後頭部がパツリと膨れてしまうと薄さが目立ってオバ見え！



ヘアケア



40代でもモテる髪って？9つの【NGシャンプー習慣】と正解ヘアケア

2019.06.15 BEAUTY

美容・ヘアライター・編集者
岩崎美穂

40代にもなると大抵「モテた！」とは思えない雰囲気ですが、独身女性であればまだ出会いを期待するわけです。オトナサロンでは編集長の婚活記事も盛り上げて、いつになっても素敵な恋ができると勇気を与えてくれています。

ただ、出会いのために「モテファッション」を身にまとうのは気が引けるし、メイクもファッションも崩っていくとタイおばさんになりかねません。

「40代のモテ」は何より髪を大切に！

40代は豊饒なよりも自分自身の素材を生かして美しさをアピールしたいもの。それは肌であり、髪。

東洋医学では「血余」といって全身に栄養が運ばれて最後に余ったものが髪になるといわれています。ということは、栄養状態、生活習慣が髪にあらわれ、まさに自分を映す鏡のようなもの。

生きざまは顔にでるではないけれど、女性の魅力は髪にあらわれるのではないのでしょうか。

美しいモテ髪には、しなやかさと、何よりモチヤ感が重要。

そこで、美しいモチヤ髪を育む習慣をまとめてみました。

まずはチェック！9つのNG習慣

- ❑ よく考えると、シャンプーのときの髪が地肌に触れていない
- ❑ シャンプーは1種類だけに絞って使っている
- ❑ シャンプー一冊にブラッシングをしていない
- ❑ お風呂のあと、髪は濡らさず自然乾燥
- ❑ 肉や大豆製品をこの日食べないと思っていない
- ❑ 痒そうの習慣がない
- ❑ いつもシャワー。バスタブに湯をためない
- ❑ 「まとめる髪」が2通り以上できない
- ❑ 髪にUVスプレーをかけていない

いかがでしたか？ 当てはまる数をチェック！

0~2口 かなりのモテ髪を維持できている！

3~5口 モテ髪習慣をなるべく取り入れて！

6~9口 残念、今すぐ対策を始めた！

では、40代の正解モテ髪習慣とは？1つ目はシャンプーのコレ！次ページ

次のページへ>>

1 2 3 4

白髪



オススメ！白髪染めを市販の「ヘアマニキュア」に変えてわかった5つのメリット

2018.06.27 BEAUTY

アロマセラピスト/編集者
南宮あかり

40代ともなると、大きなテーマの1つとして急浮上するのが白髪問題。他の人の白髪率なども気になってくるお年頃なのが、私自身もこの1~2年の間に「もしも、まだ白髪出てないの?」と何回か言われたことがあります。

「染めてるのよ、2週間に1度くらい」

「でも、全然染んでないよね」

「むふふ、そうでしょ?アレで染めてるからね」

……アレとは、ホーム用のヘアマニキュアのこと。どうです、マニアクなアイテムでしょうか? (笑)

実はワタクシ、実家は美容院で母は美容師。5歳の誕生日プレゼントはカット用のシザーと練習用のウィッグでした。一時は美容師志願者として青山のサロンを取次ぎし、美容師さんが読む専門誌の編集部にも通っていたことも。そんな私が行きついた「自宅用ヘアマニキュア」という選択について、今から熱く語らせていただきたいと思えます。

私が「白髪染め」をやめた理由

白髪が気になり始めたのは37歳の頃でした。かれこれ、もう10年も前です。白髪に関しては、ちやんやキースパートと置えるかもしれません。

当初は担当のスタイリストさんから「まだ全体を白髪染めするのは早い」と、白髪付近の毛束だけを切り取り、細やかに染めて下さっていました。白髪染めをするという一歩にエッジが効くから、それを少しでも遅らせようと考えた下だったのだと思います。でも白髪が増えてきたら、ちょっと伸びた程度でも許さなくなりました。私はそうでした。なので、そもそも細毛矯正でダメージを受けている髪だということに、スタイリストさんの配慮もむなしく白髪染め生活に突入。ヘアサロンでは月イチペース、その合間にホームカラーでも白髪染めをしちゃうようになってしまったのです。

しかし、ある日突然、大きな気づきが。

それは長男が通っていた中学校の保護者会でした。いつものようにひっそりと後ろのほうに居り、保護者会が始まるまでの10分ほど、ぼんやりと他のお母様方の髪を眺めていたんです。そこで、失礼ながら思いました。「おばあちゃんみたいな髪だ……」

当時、長男は小中一貫校に通っており、多くのお母様方とは小学校1年生からの付き合いでした。ね、出会いから9年近く経つと、お顔立ちにはそれほと変化がないのに、髪の毛がバツバツのナイロンみたいになっている人があちこち多くて驚かされた。ああ、おのれ若々しさを、こまめに髪に注ぎ込まれるものなのだ。そしてよく観察してみると、バツバツさんたちは、どうもパーマとカラー（もしくは白髪染め）の両方をしていない模様。ってことは、もしかして私の髪も大差ないのでは?

そこで、やっと気づいたわけですが。

薄毛



ひとに言えない40代の「薄毛」はどうすればいい？【髪トレ #4】

2020.09.12 BEAUTY

ヘアケアスペシャリスト・毛髪診断士
余慶尚美

毛髪関連企業の最新調査によると、40代以降の女性の髪の悩みの大半が、白髪、パサつく、うねる、分け目が薄くなる、ボリュームが減るなど、「加齢による髪の劣化＝劣化」です。

残りの人生半分以上を、豊かで健康的で美しい髪をもち、パーマやカラーも好きに楽しむには、髪と頭皮を鍛え、底上げされた状態を維持できるように、髪を鍛えることが重要です。

「髪トレ」もうケアはいらない 美髪の法則【余慶尚美・著 主婦の友社・刊 1,300円＋税】から、いつでも簡単にできるシンプルなお手入れ方法、美髪をかなえる方法を抜粋し、お教えします。寄稿はヘアケアスペシャリストの余慶尚美さん。50代には見えない美髪にも注目。

今回は年齢が上がるにつれて悩む人が増える「薄毛」です。

1人で悩まないで。薄毛も自分で対策もできることがあります

薄毛が起るのは
女性ホルモンが低下し、
男性ホルモンが今までより
優位になるから。
ホルモンのバランスをととのえ
早急に土台作りを。

男性は対子、U字など、顔まわりの生え際が薄くなりやすいですが、女性の場合は顔頂部を中心に、広い範囲で薄くなるのが特徴です。

年節的には40代後半ごろから、薄毛や脱毛の悩みがふえてきます。

この「40代後半ごろ」というのは、ちょうど女性ホルモンが減少する時期。

女性も男性ホルモンは分泌されているので、加齢により女性ホルモンの減少することで、相対的に男性ホルモンの影響を受けやすくなり、髪が抜けやすくなり、全体的に薄くなるようになります。

薄毛の原因は年齢だけではなく、食生活やライフスタイルが乱れていると、ホルモンバランスや自律神経が乱れ、髪に栄養が行き渡りません。

休日で、髪に栄養が行くのは最後の最後、栄養が足りない髪は抜けやすくなり、抜けやすくなった髪は、パサつきや切れ毛の原因にもなります。本書に掲載の髪トレで、早急に頭皮と髪の底上げをしましょう。

とくに女性ホルモンが低下する40代後半からは、全身のケアも含めて、サプリメントを摂るのもいいですね！

また、髪を引っ張ってひとひたまとめるヘアスタイルを日常的にしていると、頭皮に負担がかかり、薄毛、脱毛の原因となりますので気を付けましょう。

ヘアカラー



自分で染める時にも要注意！あっぱおバサンに見える髪色

2020.08.11 FASHION

ファッションライター
角地千子

時代によって変化するヘアカラートレンド。ここ5〜10年でその傾向は大きく方向転換をしています。気づけば、何年も前から同じ髪色をキープしている40代の女性こそ要注意かも……。また、カラーリングの頻度が少ない方も知らず知らずのうちに安っぽい髪色に見える可能性があります。今回はオバ見え注意な髪色についてご紹介いたします。

色抜けた黄色orオレンジ髪



ヘアカラーは平均しておよそ1ヶ月〜2ヶ月ほどで色が抜けてきます。とくに夏場は紫外線によるダメージも多く色が抜けやすい状況でもあります。この他、使用しているシャンプーとの相性やドライヤーやコッドといった熱のダメージによっても色が抜けていきます。

日本人の多くは色抜けすると黄みがかったブラウン、もしくはオレンジっぽい色に変化します。日常生活ではそこまですぐ目立たないようにも思いますが、透けた髪の色はほとんどなくなくなり、毛先が広がるようにパサついていきます。見た目にちよっとしたヤンキー感が出やすいので場合によってはオバ見えを誘発させるので注意したいですね。色も変化してきたと感じたらなるべく早めにカラーリングを。

昔に流行した明るめブラウン



気づけば、ヘアカラーはブラウン〜黒時代から一転してアッシュ時代に、その流行の波速に乗り切れず、10年前に流行ったヘアカラーを今でも見続けている人はいませんか？2010年前後に流行していたのは、イエローベースのライトブラウンもしくは赤みベースのピンクブラウン。色の感じからしても、やや暖かみのある昔の髪色といった印象が残ります。

ヘアケア



自宅ケアで「ツヤ髪」を保つには？シャンプーとドライ、10のチェック

2020.04.28 BEAUTY

OTONA SALONE編集部
井一美穂

美容院に行けば、優秀な毛先やサ(髪)の髪に囲っているという声が多数。中にはセルフカットに挑む人、セルフカラーを試した人もいます。

「巣ごもり中のヘアケアは、洗髪やヘアドライなどを見直して、なるべく髪の状態を健康に保つてあげることが大切」だと発信するのは、美容室Ashなどを運営するアルデサロンホールディングス。

サロン自宅でもツヤ髪を保つには、まずシャンプー前のブラッシングと予洗いがとても大事です。また、ドライヤーでの乾かし方も重要。

今回は、プロが教える「巣ごもりヘアケア」の10項目をチェック！あなたはいくつできていますか？



① 濡らす前に、頭皮からブラッシングをする

先の丸いブラシを使い、頭皮を上にかきあげるようにマッサージする。全頭にブラシを入れることで、血行が促進され、頭皮の汚れを浮かすことができるので、抜けた毛やホコリも取り除けます。また、この工程を済むことで、シャンプーの効率がよくなります。

② 2・30 秒以上かけてたっぷり予洗い

シャンプーをつける前に、シャワーのお湯で髪全体をしっかりと濡らします。予洗いによって、髪表面の汚れを落とすとともに、髪の内部にたっぷり水分をいきわたらせることで、摩擦から髪を守ることができます。

③ シャンパーはしっかりと「手のひらで」泡立て

シャンプーを手に適量とり、シャワーのお湯で髪全体をしっかりと濡らします。予洗いによって、髪表面の汚れを落とすとともに、髪の内部にたっぷり水分をいきわたらせることで、摩擦から髪を守ることができます。

④ 髪をこするようない方はダメージの原因となるので注意！指を使い、全体を洗う

指の腹をつかい、全体に頭の上に向かって頭皮を動かすようなイメージを持って洗い、これを数回繰り返したら、シャワーで泡がなくなるまでしっかりと流します。

⑤ トリートメントは、毛先を中心に施す

適量を手に取り、ダメージや乾燥の激しい毛先を中心に揉みこみ。毛先に向かってクリームを入れ、髪一本一本に行きわたらせましょう。地肌に残ると、毛穴が詰まり、潤いのもとになるので、傷みのない髪のはトリートメントをつけなくても大丈夫です。

40代から始める。大人のヘアケア特集タイアップ企画

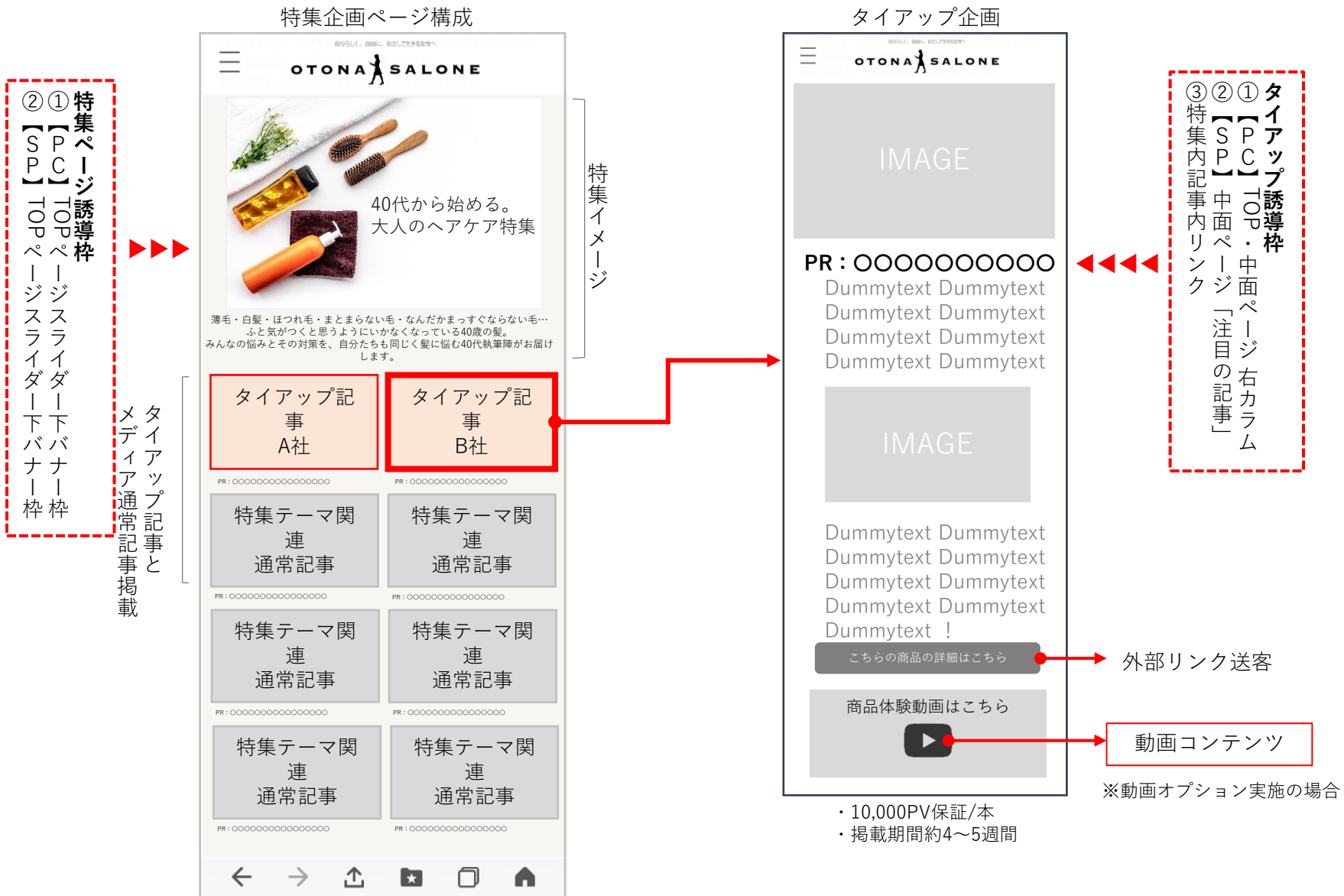
大人のヘアケア特集と連動し、特集内の記事末尾や特集ページ内の特別誘導枠より、タイアップページへの誘導、本特集を見に来ているセグメントされたユーザーに対して、効果的にタイアップ記事の露出が可能です。
また、編集長アサミによる商品レビューやイラストを交えた記事展開や、レビュー動画制作・アンケート取得も可能です。

750,000円（グロス）～



メニュー	ヘアケア特集 タイアップ企画
金額 (グロス)	750,000円
保証PV	10,000PV
平均CTR	3～5%
誘導枠	①【PC】TOP・中面ページ 右カラム ②【SP】中面ページ「注目の記事」 ③特集内記事内リンク ※誘導枠は編集部の任意で設定させていただきます
お申し込み期限	掲載開始日より30営業日前
掲載レポート	タイアップページPV数、リンク先誘導数
注意事項	※記事上部にPRマークが設置されます。 ※外部から誘導を行う場合がございます。 ※ご請求月は掲載開始月とさせていただきます。 ※上記は消費税を含まない、グロス提供価格となります。 ※掲載期間中の競合調整は行いません。あらかじめご了承ください。 ※誘導枠は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※サイトデザイン・レイアウトは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※記事は全てアーカイブされます。 ※記事最下部ヘクリアント様表記が入ります。 ※PVの進捗状況などによって外部から誘導をさせていただく場合がございます。 ※別途、対談相手による可否が必要となります。 ※対談相手の契約状況により公開期間が限定される場合がございます。

追加可能 オプション メニュー	金額	概要
編集長 アサミ体験	N350,000円～	編集長浅見による商品体験レビューを実施致します。
イラスト制作	N150,000円～	写真では伝えづらい内容やストーリーも、イラストやマンガで魅力的に訴求することが可能です。
動画制作	N400,000円～	編集長浅見が商品を体験。その様子、感想コメントなどを動画で表現します。
アンケート	N300,000円～	ユーザーと同年代へのユーザーへアンケートを実施し、リアルなコメントを交えた記事制作が可能です。





スカルプDボーテ



40代、髪に悩んだら変えたい「毎日の習慣」とは？

2020.08.26 BEAUTY [PR] OTONA SALONE編集長・雑誌コラムニスト 浅見悦子

Sponsored By アンファア株式会社

「四十にして若むす」という言葉、ちょっと違うと思いませんか？ 女の髪問題はむしろ、「40代にして若むす」！ 私、40代の友人も、いま一番ホットな話題は髪についてのこと。ハリ、コシ、ボリューム、ツヤ……。こんなに髪に悩むなんて、40代になるまでは思いもしませんでした。

なんか分け目が、目立ってる！



<https://otonasalone.jp/180427/>

編集長アサミをアサイン。自身の体験談・ボリューム感ダウンという髪悩みを交えつつ商品を紹介



C Uシャンプー

発表！40-50代女性の髪悩み。大人ヘアケアで大事なことは？

2017.11.30 BEAUTY [PR] OTONA SALONE編集長・雑誌コラムニスト 浅見悦子

女の人生に髪の悩みはつきものですが、年齢を重ねるごとにその「内容」も「深刻度」も変わるもの。特に40代からの髪悩みは、30代までのそれとまったく違います。私、OTONA SALONE編集長の浅見（45歳）もその一人ですが……。OTONA SALONE編集部には日々、40-50代女性の髪悩みの声が寄せられています。中でも特に多かったお悩み4つを紹介してまいります！

40-50代の気になる髪悩みは…



1. ハリ・コシがなくなった

40代前半から増えてくるのがこの髪悩み。ちなみにハリとは髪を引っ張ったときの張さ、コシとは曲げたときに元に戻ろうとする力のことを言います。ハリ・コシのある髪は、ふんわりと立ち上がるので見た目のボリューム感が増します。

2. ツヤがなくなった

昔は多くの女性の髪にあった天候の輪。それがなくなっていることに気づくのも、40歳前後のようです。髪のキューティクルが失われていくことでツヤがなくなるのですが、その原因が乾燥や紫外線、そして加齢もあるのだそうです……。

3. 髪が細くなった

「もともとは髪が太かったのに40代になってから前より細くなったことに気づいた」という声が少なくありません。やせて薄しいカラダは髪にいいのに、やせて薄くない髪は髪にいいという……。髪が細くなる原因は、髪が太くなる原因と逆で、髪が太くなる原因は、髪が細くなる原因と逆で、髪が太くなる原因は、髪が細くなる原因と逆で……。

4. 分け目が目立つ

40代後半・50代の女性から多く聞かれるようになった声。髪がベタベタとしてしまい、分け目が目立つようになったのだと悩む。ハリ・コシ、細くなったという悩みとも関連があるようです。

[40代からのヘアケアにオススメ](https://otonasalone.jp/43466/)

<https://otonasalone.jp/43466/>

OTONASALONEの読者から寄せられた実際の悩み紹介から、それを解決する商品として紹介。



スカルプ&リセットブラシ

その洗い方、不十分かも！ 40代からの「シャンプー時の新習慣」とは？

2018.12.03 BEAUTY [PR] OTONA SALONE編集長・雑誌コラムニスト 浅見悦子

「髪は女の命」と言われるくらいですが、40代を超えてからあらためて髪で磨けるんだなあと感じています。ツヤがなくなったり、髪が薄れたり……。そこで重要なのはやっぱり頭皮ケアです。シャンプーやトリートメント選びもですが、実は「洗い方」「ブラッシング」も大事なポイントです！

頭皮って「ちゃんと洗えるのか」問題

約75%の人が手でのシャンプーに何らかの不満を抱えています。



とあるヘアケアに関する意識調査によれば、自分の「手でのシャンプーに不満」を抱えている人はなんと75%もいるのだとか！（けっこう多いですね。）

不満は大きく分けると2つ。①洗い足りない、②洗いすぎること。③頭皮が痒い、④頭皮が乾燥すること。⑤頭皮が荒れる、⑥頭皮が赤くなる、⑦頭皮が腫れる、⑧頭皮が痛む、⑨頭皮が臭う、⑩頭皮が痒い。

美容師で「あなたのヘアケアで何を気にかけていますか？」と聞くと、たいてい「シャンプーのとき頭皮をちゃんと洗って健康な状態にしたい」と答えます。ただ、自分ではうまく頭皮を洗えているのか、正確にはわかりません。自分で見えないから……（苦笑）。そもそも髪があるのに頭皮に悩んでいるという人は、ちゃんと頭皮を洗えているのかな、と。

毛穴の汚れで髪がボリュームダウン？



<https://otonasalone.jp/89116/>

量販店で流れる動画・POPも制作
手で洗う事のNG切り口をベース
にHOWTOを絡めて訴求。

<https://www.youtube.com/watch?v=w4J3aHApkvl>



髪のおバサン化を感じたら。40代から見直したい「シャンプー」のこと。

2017.08.08 BEAUTY [PR]

OTONA SALONE編集長・婚活コラムニスト
浅見悦子

編集長アサミ。ただいま45歳です。40代になってエイジングを感じたことはさまざまありますが、中でも個人的に驚いたのが「髪」のエイジングでした。

もともとはあまり髪への悩みはないほうだったのですが、あるとき気づいたんです。30代の頃とくらべて明らかに髪の手触りが変わり、髪がオバサン化していることを……。このままじゃいけない、何かを変えなくてはと思ったのです。

髪が「なんか違う」と感じた42歳



30代までは正直、どんなシャンプーを使っても洗いあがりの髪にあまり大きな違いを感じず、ツヤもコシもありました。そして白髪もない。ありがたいDNAにあぐらをかいて、ヘアケアに対してわりとデキトだったと思います。

「あれ？ なんか違う」

そう思ったのは、42歳のときでした。

シャンプー後の髪の手触りがなんだかゴワゴワしている。あれ、私の髪ってこんなだったっけ？ 洗ったあとの抜け毛も増えたような気がするし、鏡でよく見てみると、髪の手触りもなくなってきたような……。髪の内側に白髪が大量発生していることに気づいたのも、このときでした。

私の髪は標準であるスーパーロングヘアなのですが、あまりのゴワつきに髪を切るうかとも思いました。でも、できればまだ切りたくない。もうちょっと自己表現のひとつとしてスーパーロングをキープしたい。どうしたいらいいか、悩んでいました。

<https://otonasalone.jp/34491/>

編集長とライターとの会話からより「リアル」な切り口で訴求。自身のお気に入りシャンプーとして紹介。



40代が「5歳若見え」するカギはシャンプーだった！時短美容家が試したヘアケアは

2018.09.18 BEAUTY [PR]

時短美容家
並木まき

40代になってから、これまでとは手触りや見た目が変わった髪に違和感と年齢を感じつつも「どうにかならないものか……」と、対処法を模索している女性は少なくないはず。

かくいう私も、くせ毛による広がりやパサつき、うねりが年齢に伴って一瞬、深刻化しました。

結構なクセで「パサついた見た目」になる私の髪には、必ずしも「くせ毛用」のアイテムがいいとは限りません。シャンプー類は、洗って乾かしてみなければ、髪との相性や仕上がりがわからないのです。

今では「くせ毛」かつ「広がりやすい」に「白髪が多くなってきた」の三重苦（！）を抱えているわけですが、そんな中でシャンプー選びは、三重苦のうちでも「くせ毛」との相性を最優先して選びます。

そして、あくまでも私のケースのお話ではあるものの、部分的な強いウェブで「うねり」には、頭皮ケアを重視したシャンプーを使うと「もっとも落ち書きやすい」という結論に、今のところは至っているところです。

薄毛や白髪など、加齢に伴う髪の悩みは、多くの女性に容赦なく訪れるもの。今回は、私が新たに試して「これはい！」と感じた新習慣を、みなさまにご紹介します。

加齢とともにツヤを失う髪。「時短」でなんとかしたい！



<https://otonasalone.jp/78762/>

ターゲットと同じ悩みを抱える専門家ライターをアサインし、時短に絡めた切り口で商品を紹介。



「オバサンひとつ結び」から脱出できた！時間のない私の髪まとめ方法は…

2018.07.01 BEAUTY [PR]

ファッション・読物ライター
松本小夜香

何もしなくても美しい髪をキープできていた若い頃と違って、40代前後になってから、急速に髪質の衰えを感じ始めたという人も多いのではないのでしょうか。

かく言う私も、35歳くらいから「うねり」によるまとまりのなさやパサつき、頭皮のべたつきや髪色など、日々変化していく髪の悩みが尽きず、知り合いのヘア専門の美容ライターさんに対処法をレクチャーしてもらったこと。

特に42歳になった今、髪はうねってまとまらないのにトップはボリュームダウンしてきて、これはいよいよ本腰を入れて髪のエイジングケアをしないとまずいぞ、と言うところまで来てしまいました。

40代のヘアケア、ハードルがすぎずすぎよね…



とは言っても、面倒くさがりな時短美容が大好きな私には、丁寧に時間をかけたマッサージや、いつものケアにプラスするような高価な美容オイルやパック、ましてやプロの対応に通わなければならない美容院などは敷居が高いのが本音です。

そこで「まずは基本のシャンプー類から見直してみよう」と思ったのですが、シャンプー類は使っていないと相性がわからないのが難点。

今までも、パッケージやキャッチフレーズに誘われて、何本（何十本？）「コレじゃない」と思いながらもなるまで試行錯誤して消費して来たことでしょうか……。

<https://otonasalone.jp/118443/>

ターゲットと同じ悩みをもつライターをアサイン。ライターの生の声やライター撮影の写真を使用することで、リアルな使用感を訴求。